

千代田区主催 東京2020大会関連イベント

主な取り組み
を紹介!

これまでの
イベントの紹介



2018 7/24 東京2020大会に 向けた2年前イベント

東京2020大会を2年後に控えたイベントを本庁舎1階区民ホールにて開催した。空手の清水希容選手、ウエイトリフティングの三宅宏実選手ら区内開催競技のアスリート4人をゲストとして招き、競技の紹介やデモンストレーション、カウントダウンモニターのお披露目などを行った。



清水希容選手と空手体験



2019 7/18 → 2020 2/17

Let's2020学校等連携事業

1年後に控えた東京2020大会への理解をより深めてもらうため、オリンピック・パラリンピアンを区立保育園や小・中学校などに派遣。競技のデモンストレーションや体験会を行い、子どもたちはオリンピック・パラリンピアンらと触れ合った。



フェンシングの体験

2020 10/28 → 2020 11/3

千代田区・毎日新聞社共催 「もう一度、東京2020へ」企画展

東京1964大会の聖火リレーの写真や区内会場競技の紹介パネルなどを区民ホールにて展示、7日間で約400人が来場した。また、(株)毎日新聞社の協力により、「オリンピック・パラリンピック報道写真展」を併催し、リオ2016大会の象徴的な写真を展示した。



区内開催競技の紹介パネルを展示

2021 7/16 → 2021 9/5

ポコラート世界展 「偶然と、必然と、」

障害者アート支援事業である「ポコラート全国公募展」は、開催10回目となる節目を迎え、国内外の文化交流を促す「ポコラート世界展」へと発展。世界6地域、22カ国50人の作家による約240点の作品をアーツ千代田3331にて展示した。



武田拓さんの作品「はし」

2021 8/20 東京2020パラリンピック 聖火リレー関連イベント (採火式・聖火ビジット)

東京2020パラリンピックの聖火は、全国の自治体などが独自の方法で採火した火と、イギリスのストーク・マンデビルで採火された火が、全国集火式(迎賓館赤坂離宮)で1つに統合されて完成した。千代田区では九段下まちかど広場にて、火打石などで採火を行う採火式を開催。採火された火はパラリンピック聖火(東京都の火)に統合され、千代田区役所、障害者福祉センターえみふる、区立スポーツセンターの3施設で展示した。翌日、都立葛西臨海公園第三駐車場において、その聖火で点火セレモニー(東京2020組織委員会主催)が行われた。



聖火が灯された
ランタン

公募した区民による採火